

頭脳と指先ひとつで年間**数億円**を動かす、  
“**投資の仙人**”が導き出した！

# 投資術5つの**極意**

この度はレポートのご請求をいただき、ありがとうございました。

路傍の経済学者、幸田涅槃です。

私は“投資の仙人”といわれる億万長者から株式投資を専門的に学び、  
そして彼に教えられた極意を、皆様にご提供するべく活動をしています。

私の師匠はすでに実業界を引退し、弟子を取ることもしていないので、  
彼の教えを受け継ぐのは、もはや私ひとりになってしまいました。

しかし彼の教えは資産運用のみならず、私に生きるべき道と  
生きる手段を指し示してくれました。

その偉大な叡智を私で途切れさせるわけにはいかないので、本来は門外不出の  
秘伝中の秘伝であるにも関わらず、一門だけに明かされた【お金の真実】を、  
彼の偉大な教えをエッセンスにして、こうして文書にすることにしました。

# 幸せな人生が舞い込む！大富豪の教え

彼のお金や投資に対する考え方は、実は哲学や思想といわれる範囲の非常に幅広い知識にもとづいていました。

彼が伝えようとした教えの真意はとても奥深く、お金儲けだけでなく人生をより幸せに生きるための智慧に溢れています。

そして、驚くことに彼の教えは孔子や孟子に代表される儒家や老荘思想といわれる中国古典をベースにしながらも、キリスト教の聖書や古代ギリシア哲学にも通ずるものがあり、

一見、お金とは関係のなさそうな話の中にも、実は深いところでお金に通じる人生の極意が数多く含まれています。

だから、彼の教えは投資やお金儲けだけに使えるものではありませんし、たとえ投資をしなかったとしても、生活の中で活かすべき教訓が多いです。

だから、これを読まれている方それぞれに意義のある知識だと思います。どうか肩の力を抜いて、ここから先を読み進めてみてください。

# お金とはなにか？

まずは、ここを理解しないことには先に進めません。

私の師匠は、世の中ありとあらゆるものは“波動”であるといいました。

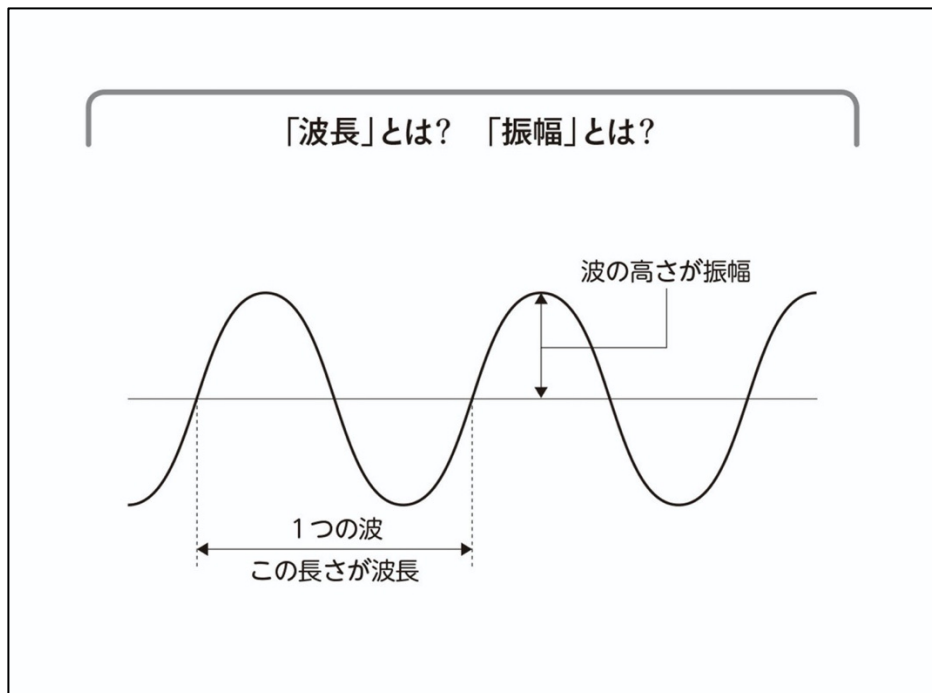
つまり、お金も波動であり、成功も波動、そして私やあなたも波動で出来ている。

「この世界に存在する物質をつくっている原子たちは波として振動している」

と云うのです…

どうですか、のっけからモヤモヤするでしょ!?

わかりやすくするために、ちょっとイラストを入れてみましょう。



よく人間関係でも、「波長が合う」というような言い方をしますよね？

それは「決まった時間の中でどれだけの波の数があるのか？」ということを指し、

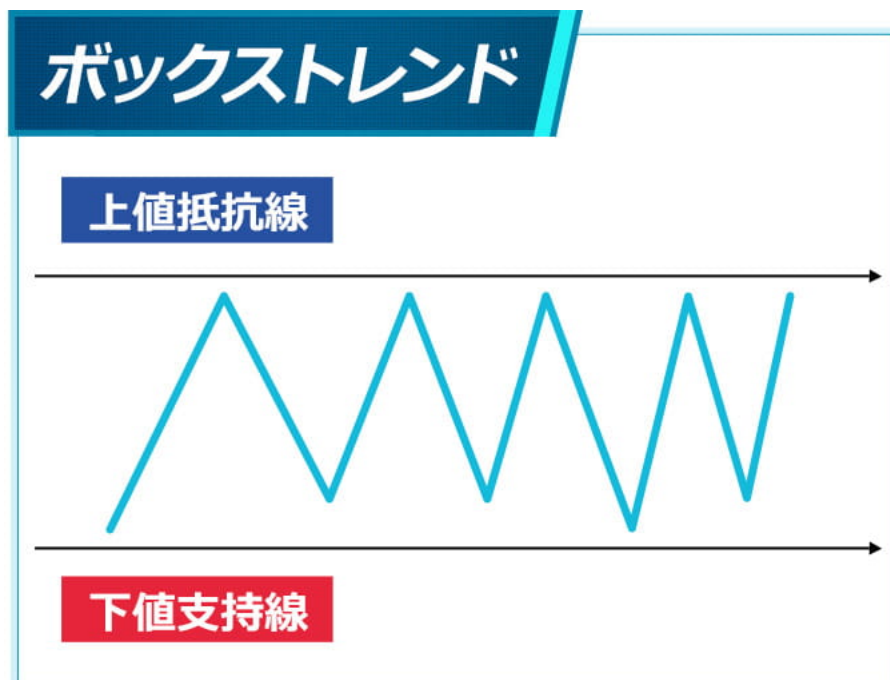
自分と同じ波長をもった人はお互いに引き寄せ合い、そして「同調」します。

つまり一緒にいるとリラックスできて、しかも居心地がいいのです。

そして勘のいい方はお気づきになられたと思いますが、

このような図、どっかでよく目にしませんか？

そう！株価の値動きを示す、「チャート」とよばれるグラフと瓜二つなんですね。



つまり、貨幣やお札などの“お金”そのものも波動だけど、

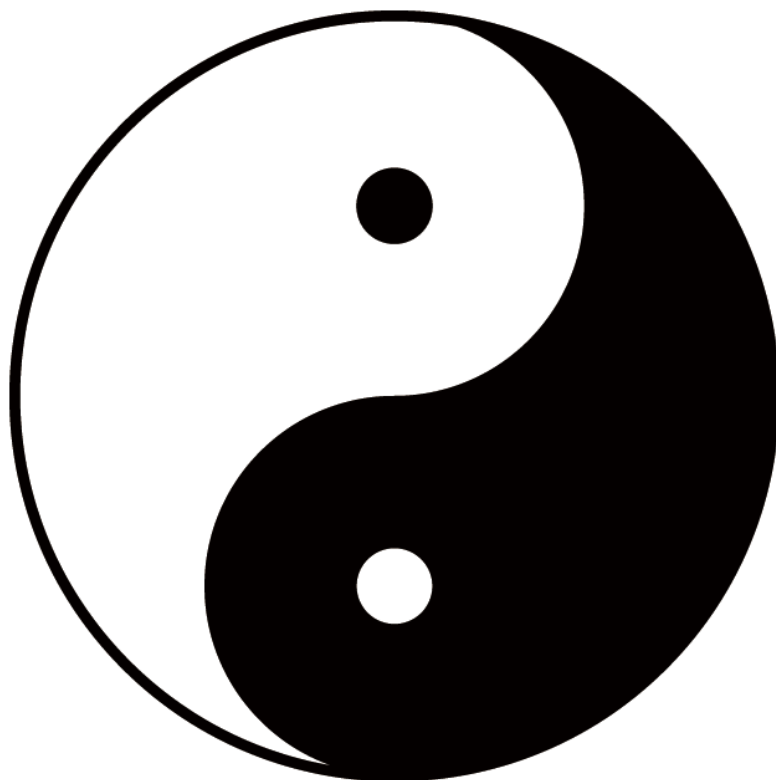
マーケットにおける値動きも“波動”として現れるものなんですよ。

そして、そんな波の動きをうまく見極めて、乗り越えることができる人たちが  
今から2500年ほど前に存在していたんです。

それは誰なんだ、と耳を疑ってしまいますが、それこそが孔子や孟子、そして  
老子や莊子など「諸子百家の時代」といわれた古代中国の人たちだったんです。

とくに波動をうまく操ることができる人たちを、「道家」や「陰陽家」といいました。

そして、そんな道家の極意を結集した「老莊思想」という考え方の  
エッセンスを示すものが、この太極図と呼ばれるものです。



皆さんも、きっと目にしたことがあるでしょう。

この図が示すのは、世の中のものには必ず「陽」の性質と「陰」の性質がある。

すべての現象は常に陰と陽の間を廻りつつ、変化するという事なんです。

老荘思想の始祖である「老子」の一節に、こういうものがあります。

道は一を生じ、一は二を生じ、

二は三を生じ、三は万物を生ず。

万物は陰を負いて陽を抱き、

沖氣以て和を為す。

(老子 第四十二章)

この言葉は、陰陽五行説という考え方の影響が強い文章になっています。

陰陽五行説とは、古代中国における自然科学、神秘思想なのですが、

物事の本質をよく言い表しています。

つまり、すべての出来事は「陽」の性質と「陰」の性質を必ず持ち合わせている。

だから見えている一面だけでなく、必ず二面性を理解しよう。そういうことです。

これが一体、お金や投資とどういう関係があるんだ？

そろそろお叱りの声が聞こえてきそうですが、考えてみてください。

株式や為替、債券というものは無限にあるものじゃないんです。

安く買って高く売る。

これは投資の基本原則ですが、あなたがある時点である銘柄を買えたということは、その時点で売った人がいるからこそ、あなたはその銘柄を手に入れているのです。

つまり、あなたがこれから値段が上がるだろうと踏んで買った背景には、これ以上は上がらないだろうと踏んで売った人がいる。

そして、さらにはある時点である銘柄を売って利益が出たということは、その背後に資金を失った人がいるってことなんですよ。

市場にこの二面性があるからこそ、価格が“波動”となって動いているわけです。

だから私たちは如何にこの波をうまくつかまえて、その波動に乗ることができるか。

投資というのはつまりは、その波を乗りこなす術を身につけるということなんです。

# 値動きという“波動”を乗り越え、4つの視点

いよいよ本題に入っていきます。

波動を操ることに長けていた古代中国人の一人に、

“孟子”という人がいました。

孟子曰はく、

「天時不如地利。地利不如人和」

(天の時は地の利に如かず 地の利は人の和に如かず)

この言葉の意味は、

天のもたらす幸運は地勢の有利さには及ばない。

地勢の有利さは人心の一致には及ばない。

というものです。

何かを為すには、「天と地、そして人を見よ」ということを云っています。

さらに後世の人はここに「時」という要素を付け足しました。

つまり、大事を為すには「天の利」、「地の利」、「時の利」、

そして「人の和」をよく見きわめなさいということ。



それぞれを株式投資の現場に置き換えて、見ていきましょう。

## ① 天の利

「天の利」は、マクロ経済と業績見通しのことです。投資家個人ではコントロールできない、世の中の大局的な動き、トレンドを指します。日経平均や各種の経済指標、政府の金融政策や財政政策などを見極めることで、大まかな世界的動向を捉えます。東洋経済新報社が発行している『会社四季報』などを読み込むのもいいでしょう。

## ② 地の利

「地の利」とはファンダメンタルズ、テクニカルにおける中長期的なトレンドのことです。向こう3ヶ月から1年ほどのタームを見越して、たとえば「90日移動平均線」と呼ばれるテクニカル分析や、業績修正銘柄の動向、外国人の売買動向などで、どのように相場が形成されているのかを判断します。

## ③ 時の利

「時の利」は、いわゆる短期トレンドのことを指します。長期投資、中期投資(ポジショントレード)、短期トレードと、投資にはどのような時間軸を取るかで投資手法が異なってきますが、短期トレードの場合だと10日移動平均線や25日移動平均線、より長期的なスタンスであれば、その時々々の材料、キーワード、テーマになります。

## ④ 人の和

投資家個人がコントロールできる余地のことを指します。その時々市場トレンドを牽引していると思われる「最強セクター」を特定することができれば、その動きを追うことで相場全体の動向を掴んで、自分が手掛ける最適な銘柄を絞り込むことができます。また、どれだけの資金量をその銘柄に投じるのか、どのようなポイントでポジション（実際に銘柄を買うこと）を持って、どのポイントでポジションを解消するのかといった、個々人の判断によるところが「人の和」になります。

以上、4つの視点から相場を見ることによって、「長期的」な投資を行うのか、または「短期的」なトレードにするのかといった判断や、「買い」から入るべきか、もしくは「売り」から入るべきかといった、総合的なスタンスを組み立てていきます。

この4つの視点を総合的に見ることで、「ここぞ！」というタイミングを見計らって投資を行えば、大きな損失を抱えることはありません。

ぜひ、この4つの視点でマーケットの荒波を捉えてみてください。

# この手順で上手くいく！5つの**投資の極意**

いよいよ、本書の核心になります。

飛躍的な安定資産を築くためには、マーケットという大海を渡りきるためのすぐれた考え方と技術が必要です。

しかし私の師匠は以下に示す手順さえきっちりと守れば、資産構築は決して難しくないと言明し、実際に彼の言葉を忠実に再現した私は大きな損失を抱えたこともありません。

それどころか、私が今までに教えてきた100人を超える門下生でも未だ損失を抱えた人は一人もいませんし、資産の成長率は年間平均120%を下回ったことはありません。

ここでは話をわかりやすくするために、株式投資を「サーフィン」に喩えてそれぞれの手順を解説していきましょう。

## **【其の壱】時流適応**

まずは波と同化し、波に一体化しなければいけません。さきほどの章であげた「天の利」、

「地の利」、「時の利」、「人の和」の4つの視点によって、マーケットの波動と自分の呼吸を合わせる事が重要です。そして冷静にあたりを見回す。市場が今どんな状態で、他のサーファーたちは何をしているのか。どんな波に乗ろうとしているのか。自分の前に、波に吞まれて大怪我した人間はいないか。逆にビッグウェーブをものにして、栄光を勝ち取ったサーファーはいないか。マーケットを賑わせている材料、キーワード、テーマを探していきます。

## **【其の貳】銘柄選択**

大まかな波の感覚がつかめたら、いよいよ次はどの波に乗るべきかを検討します。大きいけどなだらかな波をつかまえるのか、それとも小ぶりだけどパワーのある波をつかまえるのか。あなたが実現したいパフォーマンスによって、どの波を選ぶべきかも変わります。短期間で高収益を実現したいのであれば、なるべく変動(騰落率)の大きな銘柄を選択すべきでしょうし、安全性を一番に考えるのであれば変動性に乏しくとも永続的な可能性を感じる銘柄を選ぶべきです。それぞれの波に合った乗り方が存在しますので、まずはご自身の資金量と得たいパフォーマンスから逆算して、あなただけの波(銘柄)を見つけてください。

## **【其の参】水五訓の型**

「水五訓」とは豊臣秀吉の懐刀であった軍師・黒田官兵衛が残した教えです。道家である“老子”が説いた「水は上善の如し」という言葉に黒田官兵衛がインスパイアされたもので、要は「水のように生きろ」ということ。ここでは乗るべき波(銘柄)が決まったら、どのように乗る

か、どのようにパフォーマンスするかを、水のように柔らかく、状況によって形を変えて、流れに逆らわずに決めてしまおうということを指しています。「投資法」というのは水泳に似ています。泳ぎ方は自分の身体に合ったスタイルを選び、自分にフィットさせていくのがベストなんです。自分の性格や特性によって、最適なご自身の「型」を持つことが重要です。

具体的には、仕掛けから手仕舞いまでの時間軸を決めてしまうのです。小ぶりでパワーのある波ならば、数秒から数分で勝負をつけるスキャルピングやデイトレードと呼ばれる手法、または2～3日から長くとも2週間以内に手仕舞うスイングトレードといわれる手法を用いることとなります。もし長く保ちそうな波なのであれば、バリュー投資やグロース投資で半年～数年間は保有するべきでしょう。先に時間軸を決めてしまうことでナンピン買いや塩漬けといったリスクを回避し、損切り(ロスカット)のポイントを明確にする意味もあります。どの波に乗るかだけでなく、どう乗るかも予め決めてしまうのです。

最後に、黒田官兵衛による水五訓の全文を添えておきます。

一、自ら行動して他を動かすものは「水」なり

一、障害に遭いて激し、その勢力を百信にするは「水」なり

一、常に己れの進路を求めてやまざるは「水」なり

一、自らを潔うして他の汚濁を洗い、しかも清濁併せ容れるは「水」なり

一、洋々として大海を満たし、発しては雲となり雨と変じ、凍っては氷雪と化し、しかもその性を失わざるは「水」なり

## **【其の肆】エントリー・ロスカット戦略**

エントリー・ロスカット戦略とは、つまり自分のルールを持っておくということ。いよいよ波に乗るためのパドリング(実作業)になりますが、ルールさえ持っておけば、ある程度は下手な泳ぎ方でも失敗はしません。こういう時に仕掛ける(エントリー)、こうなったら必ず損切り(ロスカット)するという、ルールを作るのです。必ず仕掛けの段階の株価よりも一定の比率(できれば3%以内)まで値が落ちたものは、即座に損切りしてください。そして上値をつけて利益が見込める場合でも、あまり欲張らずに手仕舞うようにしてください。投資の大敵は“強欲さ”です。過大な欲を出した時に大きな損失が生まれるものなのです。ルールさえ持っておけば、やることはどの波にどう乗るかだけ。これを機械的に繰り返すことで損を最小に、利益を大きく確保できるようになります。

## **【其の伍】資金管理**

資金管理とは、いわゆる「ポートフォリオ」のことです。これは波に乗るために必要な、体力に該当します。決して、ひとつの波に全力で乗らない。ポートフォリオとは自分の資産を分散させておくこと。投資には、少なからぬリスクはつきものです。しかもすべてが自分の判断による自己責任です。どこまでいっても株価は“予想”することはできても、“予測”することはできません。訓練次第で勝率を上げることは可能ですが、仕掛けから手仕舞いまでの時間が短くなれば短くなるだけ、勝率は下がります。これはどんな投資のプロであっても、みんな平等なのです。ではなぜ、一部の投資家だけが成功しているのかというと、彼らはリスクをきちんと管理しているからです。卵は一つのカゴに盛るな。投資の世界でもっとも有名な格言

です。どんな有望銘柄であったとしてもすべての資金を注ぎ込まず、総資金の 1/3 か 1/4 は常に残しておくようにしましょう。

以上が、私が師匠から教えられた投資術5つの極意になります。

長文お読みいただき、ありがとうございました。

いかがでしたでしょうか。

かなり盛りだくさんの内容をコンパクトにまとめさせてもらったので、

あなたも、いささかお疲れになられたでしょう。

難しいように思える株式投資も、つまるところはこれだけのことです。

この5つの手順さえ守れば、恐れることはありません。

これから投資を始められる方は、ぜひこの手順を意識して、

難しく考えずに取り組んでみてください。

すでに投資をされている方には、ご自身の手法において出来ていること、

出来ていないことを確認するためのチェックリストにもなります。

そもそも投資に興味がないという人には、世の中の見方を変える  
ちょっとした新しい視点が得られたのではないのでしょうか。

まだまだ、私自身も人生という旅路の途中です。

でも、苦しい時期に偉大な師と出会うことができ、  
そして人生を豊かにする素晴らしい学びに巡り会えた。

すべての出会いには意味があると私は思っています。

この小冊子が、あなたの人生にとっても実りをもたらす  
一つのきっかけになってくれることを期待します。

よければ、この冊子の感想などお気軽に声を寄せてください。

願わくば、あなたの成功の一助にならんことを。

どうか、あなたにもご武運を！

**幸田涅槃**